

附 録

総理府統計局

昭和26年事業所統計調査

調査票乙(法人用)

7月1日

Table with 4 columns: 大分類, 中分類, 小分類, 細分類. Includes a note: ※産業分類番号

指定統計第2号

Table with 2 columns: 市区町村番号, 調査区番号. Includes a note: ※事業所番号

この調査は、統計法に基いて行われるので、個々の調査票は課税労働関係法規違反の摘発等統計以外の目的に使われることは絶対にありませんから、事実ありのままを記入して下さい。

(破線の中は余白のままにしておいて下さい)

Main form sections 1-6: 1 事業所の名称, 2 事業所の所在地, 3 本所・支所の別, 4 操業・休業の別, 5 事業の組織, 6 種類別従業者数. Includes detailed instructions for each section.

Section 7 財務関係事項: 1 決算日, 2 払込資本金又は出資金, 3 積立金, 4 負債金額, 5 資産総額, 6 最近一カ年間の純売上高及び事業収入, 7 資産再評価, 8 役員数. Includes detailed instructions for each section.

Bottom section: ◎事業の内容 (調査員が記入します.), 備考, 市区町村長印, 調査員印, 事業主又は代理人印.

注意 ※印の欄は市区町村長が、◎印の欄は調査員が記入します。

この調査は、全産業にわたつて、事業所及び従業者の分布並びにその活動状態を明かにし、我国産業経済活動の実態把握に資すると共に将来の調査のための基礎資料を提供するために、統計法の規定する「指定統計」として行われる重要な調査であります。

従つて統計法によつて、この調査を統計以外の目的のために使用したり、その内容を外部にもらしたりするようなことは禁止されていますし又調査を受ける事業主としても必ず真実の申告をしなければならないことに定められていますから、事業主の方の格別な御協力をお願い致します。

皆様の所へお伺いする事業所統計調査員は、必ず調査員証を持っていますから安心してお話しを願います。

記 入 上 の 注 意

一 般 的 注 意

1. 青又は黒インクで記入して下さい。 2. 数字はすべて、1.2.3のような算用数字を用いて下さい。
3. 同一事業主が同一場所で二種以上の事業を営んでいる場合に、その事業ごとに、財産目録と貸金台帳とがいずれも分離区分がしてあるものは、それぞれ別個の事業所として申告して下さい。

5. 事業の組織

- 「09 特別法による特設法人」の例 ○日本銀行 ○復興金融金庫 ○国民金融公庫 ○農林中央金庫 ○商工組合中央金庫 ○各種の公団 ○帝都高速度交通営団 ○住宅金融公庫 ○輸出銀行 ○大日本育英会 ○日本放送協会等
- 「10 特別法による組合」の例 ○貸家組合及び同連合会 ○住宅組合 ○各種の協同組合及び同連合会 ○森林組合及び同連合会 ○漁船保険組合 ○漁業生産組合 ○企業組合 ○農業共済組合及び同連合会等
- 「20 登記を要しない法人」の例 ○共済組合 ○健康保険組合及び同連合会 ○国民健康保険組合及び同団体連合会 ○水害予防組合 ○弁理士会 ○税務代理士会等
- 「30 その他の法人」の例 ○宗教法人(神社、寺院、教会) ○学校法人 ○弁護士会及び日本弁護士連合会 ○証券取引所 ○損害保険料率算出団体 ○商品取引所 ○国家公務員法による公務員団体 ○労働組合 ○外国法人等

6. 種類別従業者数

労務者か職員かの区別の困難な場合は事業主の認定によります。従つてタイピスト、現場幹部(役付工)等を労務者とするか職員とするかは個々の事業所毎に判定して下さい。

- 「2 常雇の職員」の例 ○部長 ○課長 ○社員 ○見習社員 ○事務員 ○学校教員 ○神職僧侶(主管者以外の者)等
- 「3. 常雇の労務者」の例 ○工員 ○見習工 ○売子 ○徒弟 ○給仕 ○小使 ○運転手等

7. 財務関係事項

財務関係事項の記入に用いる貸借対照表及び損益計算書の項目で各調査事項に対応するものの例示

(イ)

会社名 ×××  
貸借対照表  
昭和×年×月×日 決算日

(借方)

(貸方)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産	××××	IV 流動負債	××××
II 固定資産		V 固定負債	××××
(1) 有形固定資産	××××	計	×××× = 負債
(2) 無形固定資産	××××		
(3) 投 資	××××	資 本 の 部	
III 繰延勘定	××××	VI 資本金	×××× = 払込資本金
計	××××	VII 剰余金	
	資産総額	(1) 資本剰余金	××××
		(2) 利益剰余金	××××
		計	××××

(ロ)

会社名 ××××

損益計算書

自昭和×年×月×日 至昭和×年×月×日

I. 純売上高

(1) 商品総売上高	××××
(2) 戻り高及び値引高	××××
差 引	×××× = 純売上高
(3) 事業収入	×××× = 事業収入
合計高	×××× = 計
II 売上原価	××××
III 一般管理費及び販売費	××××
営業利益	××××
IV 営業外収益	××××
当期総利益	××××
V 営業外費用	××××
当期純利益	××××